

三周年記念祭

日 時：平成 27 年 12 月 2 日（水）9 時半受付～

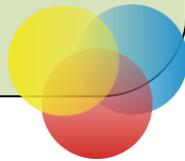
場 所：高山神社 津市丸之内 27-16

内 容：すでに満願された方、これから巡拝される方の為の「幸せ祈願祭」です。

※赤飯、記念品をご用意しています。

会員証をお持ちください。

参加費はご志納です



■「サムハラ」について

中村真一 雲昌寺住職（群馬県利根郡）

師匠・父が 7 年前に亡くなった時、遺品の中に武運長久の寄せ書きの日章旗がありました。

その日章旗にひときわ大きく書かれていた四文字が「サムハラ」でした。



最初は読めませんでしたが、興味があったので調べてみました。読み方は「さむはら」で、意味は萬難消滅・災難よけ・弾よけ等となるようです。

語源は梵語、三跋羅、三婆羅、三鉢羅、三波囉等となり、身・口・意の悪を防ぎ、六根を守る意となるようです。

「大法輪」（第二卷昭和十年発行）中の大森禅戒老師による記述には種々の読み方、種々の解釈が示されているようで、サンスクリットではサンバラ、パーリー語ではサンパと言うようです。

「大法輪」（第四卷第十二号・昭和十二年十月発行）では「出征兵士の守る符として有名なものは、古来俗にいふ天狗の四文字である。日清・日露戦役や青島攻略の際、近くは満州、上海事変などに多数の兵士は弾除けとして、この四文字の守符を所持したが、今回の事変でも恐らく心ある人々はこれを送り、また自ら携えて行ったことと思われる。某將軍の如きは千人針の布にこの四文字を書き込んで出征したとのことである。この四文字は普通サンバラと読む

『普門示現施無畏品』（ふもんじげんせむいぼん）の一番終りにこの字があってサンバラと読んで居り等々の記述があり、平田篤胤（あつだね）・滝沢馬琴・柳田国男等々も関心をもたれたようで「サムハラ」の四文字は大変興味深い文字となりました。

■ありがとうございます

矢川つや子 八の会（津市）

東堂師様が若さまの頃からおすがりして来て、只今 96 歳。こんなに長生き出来るとは思いませんでした。

お寺のため御先代さまは托鉢を続けられて御供養は若さまがおつとめでした。

お寺にお伺いいたしましたある日のこと奥様（お母さま）が矢川さんやっとお寺が建ちますよ。大変なことなのにさらっとおっしゃいました。今、山門をくぐりみどりに包まれたお寺の美しさにみ仏さまも私どもも心なごませていただきおまいり出来、ご苦労下さいましたご先祖様、ただただありがとうございます。

私はひとりぼっちですが何よりお寺に伺えますのが一人暮らしからおたすけいただく時間でございます。

もうしばらくお世話をおかけいたします。よろしくよろしくお願い致します。子供の頃からお寺が好きでお寺に伺いますといい香りがして子供心に飽きもせず座っていました。四天王寺に御縁のありました矢川の所に嫁ぎ何よりの幸せでございます。

この幸せは死んでも続きます。ありがとうございます。



四天王寺山門

■私と音楽

渡瀬容子 八の会 (津市)

私が「音楽」に触れたのは、子供のころ母が、家事をしながら童謡を歌っていたこと。それを聴きながら育ちました。



真剣に「音楽」と向かい合ったのは、高校になって音楽大学へ行こうと決意したときからです。大学へ行き、初めて音楽の深さを知りました。

「歌曲」「オペラ」「オラトリオ」等勉強し、詩と音楽の関わり、又歌と伴奏との織りなす音楽。伴奏は、単なる伴奏でなく、歌う人、ピアノを弾く人の音が、一つとなってその曲を作ります。勉強すればするほど、どんどん広がっていく世界です。詩人、劇作家、聖書、等を読んで知識を広めないと「音楽」を理解することが出来ないのです。

私は、良き師に恵まれ、大学を卒業してからも、結婚、子育て、介護を通過する中「音楽」を続けていくことを教えて戴き、良き友に恵まれ、今まで続けてこれました。継続することはとても難しいですが、壁にぶつかっては一つ一つ向かい合いながら、乗り越えてきました。

人生とは、自分が向かう道で、その都度、手助けして下さる人と出会えることが解りました。

外国の歌曲、オペラは「聖書」を知らないと又「神」を知らないと歌えないものがあります。

祈り、神への畏敬、信じる心です。目に見えないものを信じる心、人を愛する心、人のために自分を犠牲にする心、すばらしい愛の心に触れることが出来ました。「音楽」によって神仏の愛、神様の悲しい心を知ることが出来ました。本当に感謝です。神仏に助けを請うのではなく、いつも神仏に感謝することのできる自分になりたいです。

今も素晴らしい出会いがあり、それによって成長させていただいていると喜んでいきます。

皆様が聞いて喜んでくださる「歌」が、いつまでも歌えますように。自分が少しでも神仏の愛に近づ

けるように精進していきたくと思います。

そして様々の出会いを大切に、プラス思考で「うた」をうたっていきます。目に見えない「キャンパス」に「うた」を描いて皆様にその「絵」を見て戴けますように！

■一輪の花、そして失恋

奥地 蓮一 (神戸市)

高校時代の思い出は、一輪の花と、失恋である。

田舎から津に出た私は、町の生活になじめなかった。故郷では、夏なら海に潜って魚を突き、秋には山芋堀りに興じる日々だったから、あまりにも環境が違った。人の多さ、流れの速さ・・・。

当時は身体のどこかにマグマのような熱塊があって、動いていなければ落ち着かなかった。学生寮のオンボロ自転車で鳥羽まで往復したり、阿漕の海で息が切れるまで泳いだり・・・。

晩秋のある日、経ヶ峰に登った。革靴にトレンチコートの出で立ち。一気に駆け上がり頂上にさしかかったころ、ふっと前方に一輪の花を見つけた。近づくと、なんと薄いピンクのナデシコ。風に揺れる様は、愛らしく、けな気で、なにやら神々しかった。半面、ふてぶてしいほどの存在感があった。私は傍らに座って思いを巡らせながら、小一時間も見とれていた。



あるいは自分の境遇と重ねていたのかもしれない。汗が引いて冷えたが、心は安らかだった。それ以来、窮地に立つ度に、あのナデシコが脳裏をよぎる。

卒業式の直前、同級生に恋をした。たった二枚のラブレターに便箋を一冊費やした。

夕刻、彼女の家近くで会うことになった。そこに向かう途中も、心臓が音をたてていた。

初めての対話は途切れとぎれだったが、話は弾んだ。なにより思った以上の人だった。期待が膨らんだが「付き合っている人が・・・」と、あえなく討ち死に。笑顔で別れたものの、涙が止まらなかった。

あれから半世紀。記憶の多くがセピア色に変わったが、今も鮮やかによみがえる思い出である。

編集後記：石の上にも3年！会員の皆様、原稿を寄せてくださった皆様に感謝申し上げます。池上 kanon@nifty.com



友の会会費納入のお願い

開創3周年が経ちました。

巡拝の方も2,000余名となりました。友の会の皆様のご協力のもと4年5年・・・と歩みを進めていきたいと思っております。なにとぞ来年度も会員としてご協力をお願い申し上げます。

同封の振込用紙をお使いください。

会費 : 1,000 円/年間
金融機関 : 郵便局
郵便振替口座 : 00820-8-123136
口座名義 : 伊勢の津七福神友の会

《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内

電話 : 059-225-8558

URL : <http://isenotsu7fukujin>

■伊勢の津七福神 友の会特典 (会員証をお見せください)

- ・鰻のつたや 059-228-3005 100 円引き
- ・榊原館 059-252-0206 日帰り入浴 お茶進呈
- ・谷石材 0595-21-2148 花筒 5%引き
- ・大寿司 059-234-5129 アイスクリームなどデザートサービス
- ・はま作 059-228-3088 和菓子サービス
- ・松菱 059-228-6082 7階彦兵衛ランチ 700 円以上 コーヒー 1 杯サービス
- ・浜千鳥 059-229-2255 食事の際、10%割引 (都ホテル内)
- ・ホテル三徳 059-223-3109 宿泊客にコーヒー一杯サービス
- ・伊勢門本店 059-221-5777 ランチ以上に自家製プリンサービス
- ・とらや本家 059-228-4802 1000 円以上お買い上げでポイント 5 倍押し (お菓子)
- ・パラドックス 059-264-7877 アイスクリームサービス Paradox 津市大門 6-9

《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内

電話 : 059-225-8558